

【 第 1 回中標津町自治推進会議報告 】

日 時：令和 5 年 8 月 22 日（火） 19:00～20:50

場 所：中標津町役場 3 階 301 会議室

出席者：14 名（中標津町自治推進会議委員 7 名、ファシリテーター 1 名、オブザーバー 1 名、事務局 5 名）

傍聴者：2 名

<会議次第>

※新委員へ委嘱状交付

- 1 開 会
- 2 会 長 挨 拶
- 3 委員・事務局紹介
- 4 議 題

町民憲章 唱和

- (1) 前回の振り返りと本日の課題確認について
- (2) 新しい議案の提案について
- (3) 漫画制作について
- (4) 学生（高校生）の参加について
- (5) 町民ファシリテーターのお試し参加について
- (6) 役員選出について
- (7) その他

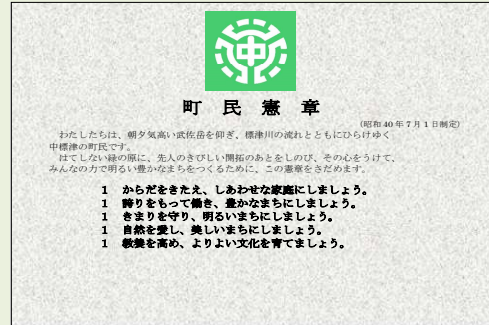
5 閉 会

<配付資料>

- ① 資料 1：「町内会」編ラフ画他[省略]
- ② 資料 2：「中標津町の自治のあゆみ（仮）」作成について（案）
- ③ 資料 3： 第 1 回会議進行用東田ファシリテーター私案[省略]

<会議結果報告>

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 委員・事務局紹介
- 4 議 題
[進行：東田ファシリテーター]



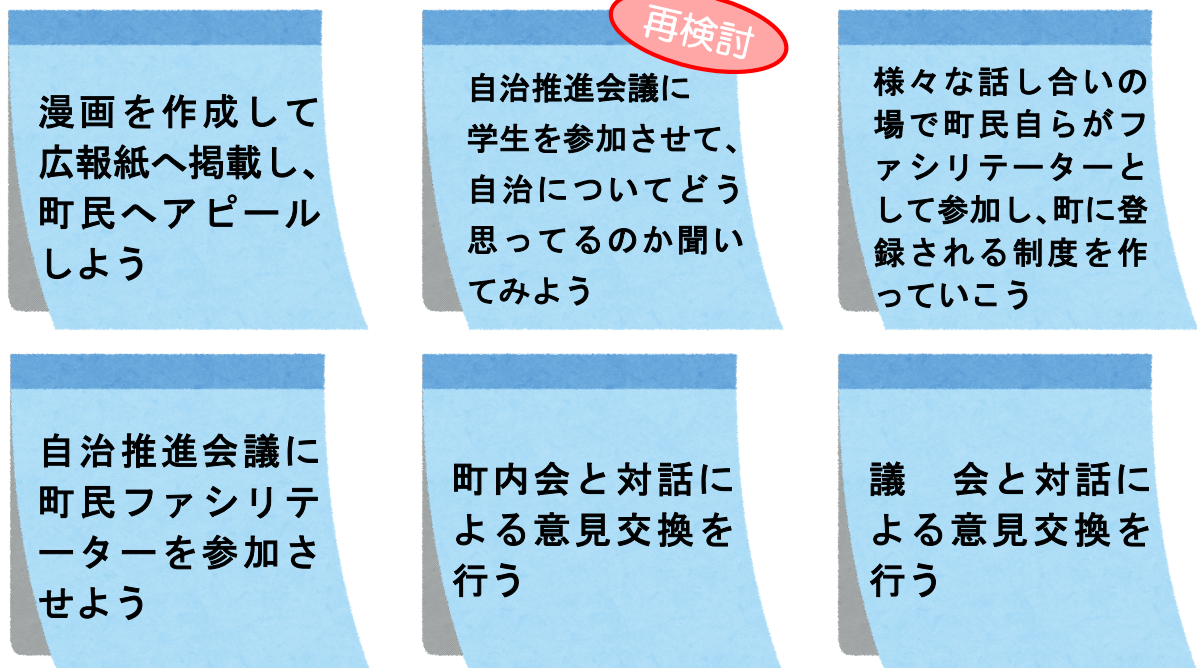
※傍聴人は全員町民ファシリテーターに登録された方であることに鑑み、関連性の深い議題については、傍聴人からも意見を求めている。

(1) 前回の振り返りと本日の課題確認について

～今年度を含む残り4年間のスケジュールについて模造紙を用いながらおさらい～

東田ファシリテーター

前年度は答申を行う最後の年に向けて中標津町の自治はどんな風に、どれくらい進んでいるか、また、条例の見直しに向け、今年度を含めた3年間でどんなことに取り組むのかを話し合い、青色の付箋に書きだした。



この他に本間委員から新しい提案があるということで議題2へ進みたい。

(2) 新しい議案の提案について

～本間委員から資料2の説明～

本間委員

自治基本条例を制定したことで協働や町民の自治意識がどのように高まってきたかを明確にあゆみとして整理し見える化する。協働や自治の進み具合を評価できるようになれば、これまでやこれからの取り組み一つ一つを成果として定義することができ、今後のまちづくりの励みと参考に繋がり、さらに協働や自治が進むのではないかと。簡潔に言うと、今期を含めた15年間でやってきたことをA4一枚程度にまとめ、本会議終了時に答申書と合わせて町長へ提出できる成果資料を作成してはどうかというもの。町民活動ネットワーク（以下「N-CAN」）が今まで記録に残してきたものをベースに皆さんの知り得ることを加える作業が必要になる。

委員

正直これ以上作業が増えるのは大変。青い付箋に加えるのではなく、これからも記録に残して行って自然と資料が出来上がればいい。

委員

町内で行っている協働の取り組みはたくさんあるのでどこまで拾いきれるか。そこを調べる作業が加わると負担が大きくなる。

事務局

条例が制定されてから民間ベースの取り組みは色々あったと思われるが、それをどう把握してどう拾うかが中々難しい。また、これまで実施した取り組みと町民や団体企業の中に実際に自治の理念がどれくらい落としこまれているかというのはまた別の評価であると考え

神原オプザーバー

条例の達成度が見える化することは大事なこと。

東田ファシリテーター

最後の年に見える化する。何をもって達成度を量るかは宿題になりそう。

委員

どの視点から見ても納得してもらえるような達成度の基準をしっかりと整理しておかなければならない。

本間委員

評価や制度という観点から他の条例、自治推進会議を続けてる自治体をリサーチしたい。

委員

難しく考えず、例えば自治推進会議を知っていますか？という問いかけをして、10人中6人が知っていたならそれを達成にするとか、ある程度共通の認識をもっとおいた方がいいね。

東田ファシリテーター

まずは積み上げていく形で進める。達成度など評価に関しては早めに考えないといけないので答申を行う前の年に検討することにしよう。

あゆみリーダーは本間委員

(3) 漫画制作について

鳴海委員

自治基本条例・自治推進会議を町民へ浸透させるために漫画を作ろうということで本格的に動き始めたところ。

～鳴海委員から会議資料 1 の説明～

江別市が自治基本条例に基づく身近な取り組みを漫画にしている、それを参考に私の方で「町内会」編のラフを作成してみた。もう少し説明を付け加えないと内容を十分に伝えられず、一枚に収めるのが難しかった。

広報に掲載するにはどこまでのボリュームが必要になるのか。

事務局

町の広報紙は全 12 ページで構成されているが、毎月スペースがなく載せたい内容を十分に掲載できていないのが現状。連載のペースやボリュームについてはこれから見当が必要となる。ただ、広報に載せるとなると締切期日に間に合うよう原稿を作らなければならないので、一枚物を広報に差し込むなどと応用が利く方法も検討してはいかがか。

東田ファシリテーター

ストーリーを考える人、漫画の絵を描く人が必要になるのでそれなりに手間がかかる。

委員

内容を理解していないとストーリーが作れない。ストーリーを描く人にうまく伝えられるかも不安。ある程度ラフができていればそこから綺麗に描いてとお願いできるのだが…。

東田ファシリテーター

予算取りの時にはページ数や依頼先、依頼にかかる料金などが固まってないといけない。

委員

まずはテーマを考えてその後に回数を決めるのがいいと思う。

東田ファシリテーター

絵を描ける人の当てがあれば教えてほしい。できれば対面で打合せが可能な身近な人。

次回はテーマと回数を決めるので解説書をもってこよう。宿題として次の会議までに各自解説書をじっくり読み込んで 12 回分のテーマを考えてくること。

委員

今の段階で決まっているテーマは

「町内会」 「情報共有」 「町民参加」 「協働」 「町民活動団体」

(4) 学生(高校生)の参加について

東田ファシリテーター

何のために聞きに行くのか再検討することになっていた。

委員

これからこの地域を担っていく学生(高校生)に町のことをどう思っているか、進学してもまた戻ってきたいと思える町はどんな町かなど意見を聞いてみたいという思いから学生参加という話がうまれた。

東田ファシリテーター

相手は学生なので日中に時間を確保してもらわないといけないね。話を聞くのはどの生徒がいいのか、誰が聞きに行くか、時間帯や目的を明確にしておこう。

委員

対面じゃなくても最初はアンケートとかでもいい気がする。

委員

教育面で高校側にメリットがないと協力してくれないのでは。

事務局

今、町と中標津高校で一緒に進めている取組があり、一つが12月12日(火)に総合文化会館で行われる中標津高校総合ビジネス科の課題研究発表会。その中でまちづくりをテーマにしている班がある。もう一つが9月3日(日)に町中のスポットを回って探究活動の一環として実施するN校リアル謎解きゲームというイベント。学校側で地域のことを知ろうとか地域のいい所を探そうという視点を持っているので先生に対して持ちかけはできるかなと思う。

委員

12月の課題研究発表会の前後で話を聞きに行けないかな。発表の準備をしている段階と実際に発表が終わった段階で話を聞きに行けば具体的な話が聞けそう。

東田ファシリテーター

2回目の会議が11末に開催されるとしたらちょうど発表の準備をしてる時期だろうからタイミングが合えばその日の日中にでも意見交換しに行けそうだね。

事務局

ターゲットは生徒会の生徒がいいのか、総合ビジネス科のまちづくりについて発表するグループがいいのか、学校側の意向をきいてみないと定まらないと思うのでまずはこちらからアプローチをかけてみる。

東田ファシリテーター

課題研究発表会に参加できる人は積極的に聞きに行こう。前後のアプローチについては事務局に調整してもらう。

(5) 町民ファシリテーターのお試し参加について

東田ファシリテーター

私の役目を町民ファシリテーターの方にお手伝いしてもらい、少しずつこの会議に入り込んでもらうというもの。今は会議の内容や進め方、条例の中身を傍聴として勉強してもらっていて、3回目の会議から実際に参加してもらえたらいいよねということで話が進んでいた。将来的には完全に取り替わってもらいたいという野望がある。

私は前回会議で決まったこと決まらなかったことを毎回資料3の作戦シートの通り整理し、事務局と今回はこんな風に進められたらいいよね、そのためにこういう資料が必要だねと2、3回やりとりして会議に臨んでいる。そこで、町民ファシリテーターの皆さんがよければ、3回目の会議に向けてこの作戦シートを作る所から一緒に進めてみませんかと提案したい。重たい話なのでN-CANに持ち帰ってもらって、登録ファシリテーターに投げかけてもらいたい。また、町民ファシリテーターとの連絡手段がないのでチームとしての場を設けていただけたら嬉しい。

本間委員

持ち帰って投げかけてみる。

12月の16日、17日に町民ファシリテーター養成講座の開催を予定しているので、皆さんには是非積極的に参加してもらいたい。話し合いはこうやって進めているんだと理解し、話し合いの場を支えていただけたら町民ファシリテーターも進行しやすくなると思う。

(6) 役員選出について

東田ファシリテーター

現在会長1名、副会長1名だが当初は会長の希望で副会長が2名体制だった。新しい委員が委嘱されたので副会長をもう1名選出するか再度話し合いたい。

会長

委員の皆さんにはそれぞれリーダーを務めていただけるのであれば現体制のままでいい。

漫画作成リーダーは鳴海委員

学生参加リーダーは箱石委員

(7) その他

第2回会議日程 11月21日(火)

第3回会議日程 3月26日(火)

閉 会



「中標津町の自治のあゆみ(仮)」

- ・最終年度に見える化できるよう4年目の年に達成度や評価について検討する



漫画制作

- ・宿題！解説書を読み込み 12 回分のテーマを各自考えてくる
- ・次回会議でテーマ、回数を決める

学生参加

- ・12/12 中標津高校総合ビジネス科課題研究発表会を積極的に聞きに行く
- ・課題研究発表会の前後で中標津高校と意見交換する

町民ファシリテーターのお試し参加

- ・第3回会議からの実践に向けて N-CAN から町民ファシリテーターへ投げかけを行う

